

## 2018年度 体育史学会第7回大会 プログラム

1日目 5月12日（土） 13:00開会

開始時刻	発表者	演題	座長
13:05 ～13:50	古川 修	武道教員の資格取得状況：埼玉県にみる武徳会称号（教士、錬士）の取得状況との比較	鈴木 明哲 （東京学芸大学）
		【 休憩 5分 】	
13:55 ～14:40	佐藤 宏拓穰 （柏木学園高等学校）	武道教員養成校における卒業生の就職先に関する研究：各学校の卒業生名簿を中心に	大久保 英哲 （金沢星稜大学）
		【 休憩 5分 】	
14:45 ～15:30	川村 若菜 （福岡教育大学 大学院）	明治後期における英国田園都市構想の日本への伝播と「間時利導（かんじりどう）」に関する研究：西欧のレジャー・レクリエーション計画・施設の日本への受容をめぐって	秋元 忍 （神戸大学）
		【 休憩 5分 】	
15:35 ～16:20	鷗木 千加子 （甲南大学）	国際バドミントン連盟初期による国際的な運営の確立（1934-1939年）	和田 浩一 （フェリス女学院 大学）
		【 休憩 10分 】	
16:30 ～17:30	村戸弥生 （石川工業高等 専門学校）	蹴鞠口伝書読解方法について：江戸初期蹴鞠書『中撰実又記』研究から地下外郎派蹴鞠復元へ向けて	山田 理恵 （鹿屋体育大学）
17:50 ～20:00		<b>情報交換会</b> （会場：プレジール）	

2日目 5月13日（日）

9:30 ～10:15	富田 幸祐 （日本体育大学 オリンピックスポーツ 文化研究所）	植民地樺太のスポーツ：『樺太日日新聞』から捉える植民地におけるスポーツの一側面	新井 博 （日本福祉大学）
		【 休憩 5分 】	
10:20 ～11:05	崎田 嘉寛 （広島国際大学）	東京パラリンピック大会（1964）の記録映画	來田 享子 （中京大学）
		【 休憩 10分 】	
11:15 ～12:15		総 会	

\* 発表 25分、質疑応答 20分（計45分）、研究方法セミナーは60分。